

## 145 食の安全・安心の確保

### 14501 食の安全・安心の確保

(主担当:保健衛生室 衛生指導課)

#### 主な取組内容

- 1 食品の製造・加工から消費にいたる一貫した監視指導などを行うことにより、食の安全・安心の確保の構築をめざします。
- 2 食の安全・安心を確保するため、残留農薬や食品添加物、重篤な健康被害を引き起こすアレルギー物質、食中毒菌等の検査を実施します。

#### 1 食品衛生

食品による危害の発生を防止するため、食品営業許可施設等に対する監視指導を実施するとともに、流通食品等を収去検査した。

また、食品等事業者に対し、食品衛生講習を行うとともに、食品衛生指導員と連携し、食品衛生思想の普及啓発の活動を行った。

##### (1) 食品営業許可施設等の監視指導結果

平成28年度三重県食品監視指導計画に基づき、食中毒発生時のリスク、取り扱う食品の流通の広域性、製造量などを評価し3ランクに分類し、ランクごとに監視頻度を定め、食品衛生法に基づく施設基準や食品の衛生的な取扱いを中心とした監視を実施した。

平成 28 年度

区分			監視実施件数	監視率(%)
Aランク施設	対象施設数	130	289	111.1
(年2回以上監視)	監視件数	260		
Bランク施設	対象施設数	144	190	131.9
(年1回以上監視)	監視件数	144		
Cランク施設	対象施設数	3,338	1,098	164.4
(5年に1回監視)	監視件数	668		
計	対象施設数	3,612	1,577	171.0
	監視件数	1,072		

##### (2) 食品衛生に関する講習会実施結果

食品事業者等を対象とした食品衛生に関する講習会を51回開催し1,843名が受講した。

##### (3) 食品衛生月間における街頭啓発の実施

厚生労働省は、毎年8月を食品衛生月間と定め、全国的に食品衛生思想の普及・啓発を推進しているが、この食品衛生月間時に食品衛生指導員と連携し、食品衛生思想の普及啓発の活動を行った。

\*平成28年8月1日 イオン名張店

\*平成28年8月3日 イオン伊賀上野店

\*平成28年8月4日 Aコープ青山

内容 食中毒予防リーフレット等啓発資材の配布

## 手洗い実験

### (4) 調理師・製菓衛生師試験受験状況

平成 28 年度

区分	申込者数(人)	受験者数(人)	合格者数 (人)	合格率(%)
調理師 試験	44	38	29	76.3
製菓衛生師 試験	68	64	49	76.6

## 146 感染症の予防と拡大防止対策の推進

### 14601 感染症予防のための普及啓発の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

#### 主な取組内容

- 1 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。

#### 1 感染症の予防事業

感染症の予防対策と防疫対策の推進を図り、患者発生防止に努めた。

##### (1) 感染症発生状況(結核を除く)

平成 28 年度

分類	疾患名	届出件数
一類感染症	—	0
二類感染症	—	0
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1
四類感染症	デング熱	2
	レジオネラ症	5
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5
	急性脳炎	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3
	梅毒	3
	麻しん	1

##### (2) 検疫通報 通報件数 2 件

##### (3) 行政検査実施状況 平成 28 年度

疾患名	件数
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	4

##### (4) 感染症病原体検査 検査件数 19 件

##### (5) 感染予防教育実施状況

実施日	場所	内容	参加者
平成 28 年 10 月 14 日	名張育成会 はーと	社会福祉施設における感染症対策	社会福祉法人 名張育成会職員 27 名

## 14602 感染症危機管理体制の整備

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

### 主な取組内容

1 新型インフルエンザ等の社会的に影響の大きい感染症の発生に備え、関係機関との訓練を行い、防疫体制の強化を図ります。

#### 1 情報伝達訓練

政府情報伝達訓練日に合わせて、伊賀地域において関係機関との情報伝達訓練を実施した。

実施日	内容	参加機関
平成 28 年 12 月 13 日	新型インフルエンザの流行状況や三重県における対処方針に関する訓練情報を関係機関に伝達し、関係機関から対応状況に関する報告を受けた。	二次救急医療機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、老人福祉施設協会、警察、消防、教育委員会、市、伊賀地域防災総合事務所

#### 2 実動訓練

新型インフルエンザ等の新感染症の蔓延防止に備えて、医療機関と保健所の連携体制を確認し、患者発生時に迅速かつ適切な対応ができるよう訓練を実施した。

実施日	場所	内容	参加者
平成 28 年 11 月 19 日	名張市立病院	① 陰圧テント設置訓練 ② 患者受入れ訓練 ③ 意見交換	名張市立病院 職員 伊賀保健所 職員
平成 29 年 3 月 2 日	伊賀市立上野総合 市民病院	① 個人防護具の着脱訓練 ② 患者受入れ訓練 ③ 意見交換	伊賀市立上野総合市民 病院 職員 伊賀保健所 職員

## 14603 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

### 主な取組内容

- 1 エイズをはじめとする性感染症のまん延を防止するため、知識の普及啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
- 2 結核患者の早期発見・早期治療のため、接触者健康診断を実施し、まん延を防止します。

### 1 エイズ対策事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び検査を実施した。

#### (1) 相談、検査状況

平成 28 年度

	男	女	計
エイズ相談件数	6	5	11
エイズ検査件数	32	15	47

#### (2) 普及啓発状況

エイズを含めた性感染症の予防と、患者及び感染者に対する差別や偏見の解消を図る事を目的に普及啓発を実施した。

実施日	内 容	対象者
平成 28 年 8 月 20 日	伊賀市元気まるごと！応援フェスタにてエイズ啓発コーナーの設置	来場者 280 名
平成 28 年 8 月 23 日	上野ロータリークラブ例会卓話にてエイズに関する健康教育を実施	会員 36 名
平成 28 年 10 月 7 日	コープみえ商品・くらしの活動交流会にてエイズ啓発を実施	来場者 84 名
平成 28 年 10 月 10 日	名張市体育・健康フェスタにてエイズ啓発コーナーの設置	来場者 130 名
平成 28 年 12 月 1 日	世界エイズデー街頭キャンペーンの実施	住民 750 名
平成 28 年 12 月 1 日～28 日	伊賀庁舎にて世界エイズデー啓発コーナーの設置	来庁者 300 名

#### (3) 特定感染症検査

平成 28 年度

	男	女	計
梅毒検査件数	31	12	43
B型肝炎検査件数	36	18	54
C型肝炎検査件数	36	18	54

レッドリボンは、  
H I V感染者・エ  
イズ患者への理解  
と支援の意思を表  
すシンボルです。



#### (4) 肝炎ウイルス検査医療機関委託事業

委託件数 15 件

## 2 結核対策事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

### (1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 登録及び登録除外の状況(潜在性結核感染症含む)

平成28年1月1日～12月31日

	H27 年末現在 登録数	年内登録			年内登録除外			H28 年末現在 登録数
		新規	転入	計	除外	転出	計	
管内 計	69	26	2	28	43	1	44	53
伊賀市	34	18	2	20	19	1	20	34
名張市	35	8	0	8	24	0	24	19

イ 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成28年1月1日～12月31日

病型別  年齢区 分	活動性結核															(別掲) 潜在性 結核感染症			
	計			肺結核活動性										肺外結核					
				喀痰塗抹 陽性			その他 結核菌陽性			菌陰性・ その他			活動性						
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女				
計	21	12	9	9	7	2	4	2	2	4	2	2	4	1	3	5	4	1	
0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～29	3	2	1	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
30～39	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
40～49	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	
50～59	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
60～69	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	3	0	
70～	13	8	5	7	5	2	3	2	1	0	0	0	3	1	2	1	0	1	

ウ 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成 28 年 12 月 31 日現在

区分	病型別	計	活動性結核				肺外結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明
			肺結核活動性(登録時)						
			計	喀痰塗抹 陽性	その他 結核菌陽 性	菌陰性、 その他			
計		45	14	7	4	3	3	12	16
入院		8	6	4	2	0	0	0	0
うち、37 条適用		2	2	2	0	0	0	0	0
在宅医療		12	8	3	2	3	1	0	3
医療なし		25	0	0	0	0	0	12	13
医療状況不明		0	0	0	0	0	0	0	0

エ 市別結核登録患者の状況

平成 28 年 12 月 31 日現在

市町別	病型別	計	活動性結核				肺外結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明	(別掲) 潜在性 結核 感染症
			肺結核活動性(登録時)							
			喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他					
管内 計		45	7	4	3	3	12	16	8	
伊賀市		29	5	4	1	1	9	9	5	
名張市		16	2	0	2	2	3	7	3	

オ 市別結核新登録患者の状況

平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日

市町別	病型別	計	活動性結核				肺外結核 活動性	罹患率 (10 万対)	(別掲) 潜在性 結核 感染症
			肺結核活動性(登録時)						
			計	喀痰塗抹 陽性	その他結 核菌陽性	菌陰性・ その他			
管内 計		21	17	9	4	4	12.5	5	
伊賀市		15	14	8	4	2	16.7	3	
名張市		6	3	1	0	2	7.7	2	

## (2) 結核検診実施状況

平成 28 年度

対象別	項目	予防接種			胸部エックス線撮影		喀痰 検査 者数	ツベルク リン検査	QFT 検査	結核患 者発見 者数
		対象者数	BCG接 種者数	接種率	対象者数	受診者数				
定期	計	1,184	1,181	99.7%	63,153	19,511	-	/	/	-
	事業者	/	/	/	7,325	7,087	-	/	/	-
	学校長	/	/	/	1,653	1,650	-	/	/	-
	施設の長	/	/	/	1,603	1,472	-	/	/	-
	市町長	1,184	1,181	99.7%	52,572	9,302	-	/	/	-
定期外	計	/	-	/	/	71	-	9	235	7
	患者家族等	/	-	/	/	46	-	9	235	6
	患者管理	/	-	/	/	25	-	-	-	1

## (3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成 28 年度

市町別	項目	住民健診 対象者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C) / (B) %	胸部エックス線撮影			結核 患者 発見 数(G)	(G) / (D) %	
						受診人員		(D) / (A) %			
						間接撮影 数	直接撮影 数				計(D)
計		52,572	1,184	1,181	99.7	4,073	5,229	9,302	17.7	-	-
伊賀市		29,256	631	630	99.8	4,073	576	4,649	15.9	-	-
名張市		23,316	553	551	99.6	0	4,653	4,653	20.0	-	-

## (4) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成 28 年 4 月 1 日現在

氏 名	役 職 名
坂井 隆	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター 名誉院長
猪木 達	社会医療法人 畿内会 岡波総合病院 院長
町支 素子	医療法人まちし会 まちクリニック 院長
玉置 三富士	社会保険労務士
國富 静代	人権擁護委員

## (5) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第 2、4 週の木曜日 午後 12 時 30 分から午後 1 時 受付

(6) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第 37 条申請診査件数

平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日

区分	申請別	計	新規申請 (法 20 条第 1 項)	継続申請 (法 20 条第 4 項)	解除
申請件数		51	15	36	15
承認件数		51	15	36	15

イ 感染症法第 37 条の 2 申請診査件数

平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日

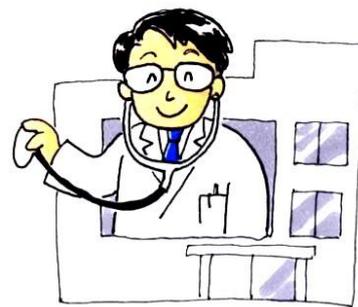
区分	保険別	計	被用者保険		国保	後高	生保	その他
			本人	家族				
申請件数		47	13	1	12	20	1	0
承認件数		47	13	1	12	20	1	0

(7) 結核統計

罹患数・率、有病数・率

平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日

市別		計	伊賀市	名張市
* 人口 (H28.10.1 現在)		167,973	89,741	78,232
罹患率	総数	21	15	6
	率(10 万対)	12.5	16.7	7.7
有病率	総数	53	34	19
	率(10 万対)	31.6	37.9	24.3



\* 資料:三重県戦略企画部統計課推計人口

(8) 結核対策特別促進事業

ア 目的

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により、医師及び保健師の抗結核薬服薬支援が義務づけられている。独居生活者、高齢者世帯、外国人といった家族や周囲の支援や協力を得られにくく、服薬中断リスクの高い者を中心に定期的な訪問、面接、連絡などによって接触を図り、処方された薬を確実に服薬できるように支援を行っている。

しかし、再発及び薬剤感受性菌の出現を防止するためにはすべての結核患者や潜在性結核患者の治療完了を徹底する必要がある。結核患者や潜在性結核患者を対象に服薬確認を行い、服薬中断リスクの高いものには訪問や面談によって密に連絡をするように努める。

また、病院、薬局や関係機関と連携を図り、地域での服薬支援体制の充実を図る。

イ 事業内容

(ア) 訪問・電話連絡等で定期的に患者及び家族に服薬・受療状況の確認・支援を行った。

平成 28 年度

	DOTS 対象者 数	DOTS 実施数	内訳				
			院内 DOTS	訪問 DOTS	郵送 DOTS	外来 DOTS	連絡 DOTS
実件数	40	40	1	7	22	5	120
延べ数		171		48	86	20	342

(イ) 医療機関での DOTS カンファレンスに参加し、服薬支援状況・結果等を報告した。

「訪問結果報告書」「面接報告書」を使用して、医療機関との情報共有を行った。

DOTSカンファレンス

平成 28 年度

開催場所	参加回数	対象者数
三重中央医療センター	6 回	8 名

\* DOTS カンファレンス: 医療機関の医師、看護師、薬剤師や保健所の保健師等が通院後の確実な服薬支援方法について検討、協議する会議

ウ 効果(今後の展望、次年度計画への反映等)

- ・定期的な服薬確認により、抗結核薬の飲み忘れや飲み間違いを防ぐことができ、治療自己中断者無く、治療継続・治療完遂できた。また、定期的な関わりによって患者の体調や副作用の有無を把握することができ、適切な医療機関受診に繋げることができた。
- ・関係機関に服薬支援を依頼する際に結核に関する知識を説明することで、結核についての理解促進や、知識の向上に繋げることができた。

## II「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

### 232 結婚・妊娠・出産の支援

#### 23203 母子保健対策の推進

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

##### 主な取組内容

三重県の「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」が平成27年度から施行されたことに伴い、各市が、妊娠・出産・育児における「地域の強みを生かした切れ目のない母子保健体制」を整備できるよう人材育成、関係機関調整等、体制整備の支援を行います。

### 1 母子保健事業

母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、市の母子保健事業の支援、広域的な母子保健施策の推進に努める。

#### (1) 健やか親子支援事業

親と子が健やかに暮らせる地域社会づくりを目指し、「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」を推進していく中で、妊娠・出産・乳幼児期・思春期を通じて総合的に支援していくことを目的とした。

##### ア 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

小児慢性特定疾病児の新規・更新申請時に、医師からの訪問の指示があるケースを中心に家庭訪問を実施し、小児慢性特定疾病及び長期療養児等とその家族に対して、関係機関との連携を図りながらQOL(生活の質)の向上を目指して個別支援を実施した。

家庭訪問延件数	1 件
相談延件数(面接・電話)	28 件
連絡調整会議	3 件

##### イ 児童虐待予防ケア

母親がメンタル疾患である虐待のハイリスク児に対して、関係機関と連携を図り個別支援を実施した。

家庭訪問延件数	1 件
相談延件数(面接・電話)	16 件
連絡調整会議	2 件

児童虐待のハイリスク者に対応する関係機関の連携強化を目的に、市主催の連絡調整会議に参加した。

	年月日	場 所	内 容	参加者
名張市要保護児童対策地域協議会	H28.5.13	名張市役所 会議室	要保護児童に対し、適切に支援できるように情報交換、協議を行った。	市担当者
	H28.6.1			市教育委員会
	H28.7.27			児童相談所
	H28.10.13			警察署
	H28.8.25	名張市防災センター 研修室	代表者会議	保健所

### ウ 思春期保健

心身ともに発達や変化の大きい思春期の児童・生徒等に対して、性や健康に関する情報の提供及び保健指導を実施した。

電話相談延件数	13 件
---------	------

### エ 母子保健体制の整備

母子保健関係機関との連絡調整会議への参加を行う。

	年月日	場 所	内 容	参加者
連絡調整会議	H28.7.25	伊賀庁舎	管内母子保健担当者意見交換会	市保健師 市母子保健担当事務職員 県庁子育て支援課職員 保健所保健師
乳幼児健診委員会の場での情報交換	H28.7.21 H28.11.17 H29.3.16	伊賀医師会館	乳幼児健診の結果確認及び情報交換	小児科医師 産婦人科医師 市保健師 保健所保健師等
	H28.4.8 H28.6.3 H28.8.5 H28.10.7 H28.12.2 H29.2.9	名賀医師会館		

### (2) 小児慢性特定疾病の状況

小児慢性特定疾病医療費助成に基づき、患者家庭の医療費負担の軽減を図った。

平成 29 年 3 月 31 日現在

	計	悪性 新生物	慢性 腎疾患	慢性 呼吸 器疾患	慢性 心疾 患	内分 泌疾 患	膠 原病	糖 尿病	先天 性 代謝 異常	血友 病等 血液 疾患	神経 ・筋 疾患	慢性 消化 器疾 患	染色 体・ 遺伝 子疾 患
件 数	149	19	12	6	35	43	2	6	2	4	9	10	1

## 2 母体保護事業

### (1) 人工妊娠中絶届出数(年齢別・在胎週別)

平成 28 年度

年齢 在胎週	総数	20 歳 未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50 歳 以上	不詳
総数	182	13	27	29	54	27	29	2	0	0
満 7 週以前	111	8	12	20	29	17	22	2	0	0
8 週～11 週	64	5	11	7	25	9	7	0	0	0
12 週～15 週	4	0	2	2	0	0	0	0	0	0
16 週～19 週	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0
20 週～21 週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 不妊手術届出数

届出件数 1 件

～沿革～

年	月	日	概 要
S12	4	5	保健所法(法律 42 号)公布
S12	12	14	内務大臣より阿山、名賀両郡を管轄区域とする三重県伊賀上野保健所設置の件、認可される。
S13	8	25	阿山郡上野町大字上野字丸の内に庁舎建物(木造 2 階建 延 115 坪)竣工。敷地 321 坪(寄附 150 坪、無償貸与 171 坪) 同日付開所する旨告示(三重県告示第 668 号)。
S22	5		上野警察署から衛生関係業務(食品衛生、急性伝染病予防業務)移管(三重県告示第 222 号)。
S22	6		三重県上野保健所と改称(三重県告示第 248 号)
S22	9	5	保健所法全面改正(法律第 101 号、昭 23.1.1 施行)
S23	11	20	保健所の課制施行。総務、衛生、保健予防課、保健婦室の 3 課 1 室設置(庁訓第 550 号)。
S29	2	12	庁舎事務所(木造 2 階建 延 51 坪)竣工。
S35	8	15	次長制度施行(県規則第 65 号)。
S39	3	6	三重県上野庁舎に移転。
S39	5	6	名張市に上野保健所名張相談所開設。
S51	4	1	環境課設置。4 課 1 室となり衛生課を衛生指導課と改称。
H4	4	6	上野市四十九町に移転。
H5	4	1	保健婦室を保健指導課と改称。
H9	4	1	保健予防課・保健指導課を廃止し、企画調整課・地域保健課を設置。
H10	4	1	・行政システム改革に伴う組織改正。 ・保健所、福祉事務所、児童相談所を統合し、伊賀県民局保健福祉部を設置。 これに伴いグループ制の実施。企画総務グループ、健康増進グループ、福祉保健グループ、児童グループ、衛生・検査グループを置く。
H13	4	1	・企画総務グループを、総務グループ、企画グループに分割。 ・衛生・検査グループを衛生指導グループに改称。
H14	4	1	・行政システム改革に伴う組織改正。 ・チーム制の導入、保健衛生チーム、福祉相談チーム、児童家庭チームの設置。 これに伴い保健衛生チームに計画調整グループ、健康増進グループ、衛生指導グループ、福祉相談チームに経営支援グループ、生活支援グループを置く。
H15	4	1	経営支援グループと計画調整グループを統合し、福祉相談チームに経営企画グループを置く。
H16	4	1	室制を導入。保健衛生チーム、福祉相談チーム、児童家庭チームをそれぞれ、保健衛生室、福祉相談室、児童家庭室に改称。
H17	4	1	・児童相談所の分離・独立に伴い、児童家庭室を廃止。 ・福祉相談室を企画福祉室、経営企画グループを企画市町村支援グループ、生活支援グループを福祉グループに改称。
H18	4	1	・機構改革による県民局制廃止に伴い、伊賀保健福祉事務所を設置。 ・上野保健所を伊賀保健所に改称。 ・市町村合併に伴い、伊賀福祉事務所を廃止。 ・企画福祉室を廃止し、課制導入。保健衛生室、企画福祉課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課の 1 室 4 課体制となる。
H25	4	1	・機構改革により伊賀保健福祉事務所を廃止し、伊賀保健所を設置。 ・企画福祉課を総務企画課に改称。



# 保健所年報

平成29年11月発行

## 三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町2802番地  
電話番号 0595-24-8070(代表)  
ファックス番号 0595-24-8085